

●編集顧問／牧野永城、菅原克彦、阿部令彦、出月康夫、武藤輝一、田島知郎、萩原 優、北島政樹

●編集委員／跡見 裕、畠山勝義、炭山嘉伸、桑野博行、宮崎 勝、島津元秀

●編集同人／佐野圭司、近藤芳夫、阪口周吉、鈴木章夫、秋山 洋、塩谷信幸、諏訪邦夫、岡崎春雄、松元輝夫、折田薫三、細田泰之

近年の分子生物学の目覚ましい発展は、医学の分野に飛躍的進歩と莫大なる成果をもたらした、また今後にもさらに多くの知見をもたらすことは言うまでもありません。「物質は原子からできている」という20世紀の科学の成果（ファインマン）に象徴される視点に立脚した考え方、すなわち対象を要素の性質に還元して理解しようとする「要素還元主義」が広く科学の中心に位置し、自然を理解するのに非常に有効で切れ味の鋭いこの方法論は、21世紀の今後ともその座は不動のものであり続けるでしょう。しかし一方で、これらの多くの要素が集合して1つの系を作ると、個々の要素には存在していない新しい性質が出てくることもまた事実であり、生命システムの多様な複雑性と、それらによりもたらされる多様性と多義性がそこに存在します。このことは「ミクロ」な視点からのみならず、「マクロ」な視点、すなわち「グローバリズム」という立場からの観察の重要性をも示唆するものでしょう。すなわち、「木を見て、森を見ず」ではなく「木を見て、また森も見ろ」ということにも言い換えられると思われまふ。

医学に話を戻すと、近年の高齢社会、社会環境の変化に伴うさまざまなストレスの増大、そしてこれらからもたらされる疾病構造の変化と多様化のなかで、「要素還元主義」的に疾患単位で、もしくは病因単位で患者さんを診ることにとどまらず、「グローバリズム」という視点から個体全体を診て、さらに quality of life (QOL) も重視する、いわゆる「全人的医療」の両面からのアプローチが必須となったことは明かです。そのような観点から、長い歴史を有する漢方医学の意義は、今日的にもさらに重みを増してきたものと思われ、このことは外科の、特に消化器外科領域においても例外ではなく、ここに「消化器外科と漢方」という特集を企画させていただいた次第です。

本特集の森根裕二先生の論文にある「『グローバル EBM』(『分子標的治療』だけでなく漢方のもつ『人』全体を診るという要素を統合した医療)の確立へと進むべきである」という提言、さらに「特集にあたって」において北島政樹先生が示された「漢方医学の課題や未解決の問題を解決すべく西洋医学の methodology を用いて生理学的あるいは分子生物学的解析を行い、わが国から漢方のエビデンスを欧米に向けて発信することの重要性」のご指摘は真に至言であると言えます。前述した「ミクロ」と「マクロ」という2つの観点、もしくは立場からの「双方向的」アプローチが今後の漢方の在り方のみならず、医療の方向性をも示すものと考えられ、そのことを読者の皆様に実感していただければ編集委員の1人としてこのうえない喜びであります。

(桑野博行)

臨床外科 (第63巻第4号)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2008年4月20日発行(毎月1回20日発行)

定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5%)
2008年 年ぎめ予約購読料 38,960 円 (税込)
(送料弊社負担・増刊号を含む 13 冊)

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail : ringe@igaku-shoin.co.jp
担当 鶴淵・田村・中田
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ JICLS < (株) 日本著作出版権管理システム委託出版物 >
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌を複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)の許諾を得てください。
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- ・ 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。